

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 21 年 3 月 16 日 (月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	B 型肝炎ウイルスコア関連抗原
検査コード	7176
検体量	血清 0.5 mL
容器・保存	A1 A2 ・ 凍結
実施料 (判断料)	290 点 (免疫)
所要日数	4 ~ 7 日
検査方法	CLEIA 法
基準値	3.0 LogU / mL 未満

保険収載名称：B 型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg) 定量

保 険 注 釈：B 型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg) 定量は、B 型肝炎ウイルス感染の診断の補助及び治療効果の判定の目的で、血清又は血漿中の B 型肝炎ウイルスコア関連抗原 (HBcrAg) を測定した場合に 1 月に 1 回に限り算定する。なお、D023 微生物核酸同定・定量検査の「3」の HBV 核酸定量検査又は同区分「5」の DNA ポリメラーゼを同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

《 解 説 》

B 型肝炎の治療におきましては、ラミブジンなどの核酸アナログ製剤の登場によってウイルス増殖抑制に優れた効果が報告されています。しかしながら、投与中止後の再燃や長期投与による耐性株の出現などの問題も認められています。

B 型肝炎ウイルスコア関連抗原は、HBe 抗原、HBc 抗原および p22cr と呼ばれる HBV プレコア蛋白の 3 種類を同時に測定するもので、肝組織中の HBV ウイルス量を反映するとされています。本項目は、ラミブジン治療の投薬中止時期の指標や耐性株出現予測のマーカーとして期待されています。